

山防地区大会決勝戦評

○男子決勝

誠英○72(15-23 20-12 18-14 19-14)63●山口

両チームともハーフコートマンツ。互角の立ち上がりを見せ、山口は#6のバスケットカウントや速攻、#13の3Pなどで加点する。対する誠英は#8の3Pや#15のバスケットカウントなどで応戦する。中盤以降は、山口が速攻を軸にリズムをつかみ、誠英もメンバーチェンジで流れを引き戻そうとするがとすが流れを引き戻すことはできない。誠英15-23山口。2Q序盤、誠英は#6の3Pと#15のゴール下で一気に差を縮め、さらに3分半からは、#4がバスケットカウントとカットインの連続ゴールで一気に逆転する。残り2分から誠英はじわじわと差を広げにかかるが、山口の#13・#4が立て続けに3Pを決め、再び山口がリードする。シーソーゲームの様相を呈する。誠英35-35山口のイーブンで折り返す。後半立ち上がり、誠英が#6のドライブからのシュートなどで連続加点し、山口も必死に応戦するも、誠英ペースで試合が進み、点差が開く。しかし終盤、山口は#13と#16の3Pで差を4点にまで縮め、一進一退の好ゲームとなり勝負の4Qへ。誠英53-49山口。4Q序盤、誠英は速攻などで点差を広げにかかる。対する山口は#13のドライブインなどで一歩も引かない。4分過ぎには誠英のリードが8点まで広がるが、山口も必死の粘りを見せる。残り2分半、誠英66-60山口となったところで山口のタイムアウト、逆転を狙って奮闘を見せるも、誠英72-63山口で試合終了。

○女子決勝

誠英○81(35-5 18-12 12-12 16-10)39●防府

両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。誠英は、序盤からオールコートでプレッシャーをかけ、3Pやジャンプシュートを確実に入れ加点していく。一方、防府は誠英の堅いディフェンスを崩せず、点差が広がっていく。誠英35-5防府。2Q、誠英の一方的なゲーム展開かと思われたが、誠英のメンバーチェンジ後、防府は反撃を開始。新戦力1年生の活躍もあり、徐々にリズムをつかみ、防府#8のドライブやカッティングからの攻撃で応戦していく。誠英53-17防府で前半終了。3Q序盤、防府は1年生のみで戦う時間帯もあり、#8を中心に堂々としたプレーを見せていた。しかし、誠英も多彩な攻撃と堅実なディフェンスで点差は縮まらない。誠英65-29防府。4Qも同様の状況が続き、最終的には誠英81-39防府で誠英が優勝した。誠英が終始安定した力を見せたゲームであったが、1年生の活躍が目立った防府の次を期待させるゲームでもあった。